

『学校だより』令和5年度9月号  
Escuela Japonesa de Panamá  
パナマ日本人学校

TEL: 223-7782 FAX: 264-4751  
E-mail:japonesa@panama.lolipop.jp  
<http://panama.lolipop.jp/>

在籍数  
小学部 11名  
中学部 2名  
合計 13名



## 「夏休み」から学ぶこと

校長 宗像 玲

夏休みが終わり、2週間が経ちました。9月は学習発表会や CEP 校との交流などもあり、子どもたちは夏休みモードから強制的に日常の学校生活に引き戻されているようです。夏休み中に身体が一回り大きくなった子どもたちがたくましく見えるような気がします。26日間の夏休みを、それぞれの時間の使い方をして過ごしたと思いますが、子どもたちにとってはどんな夏休みになったのでしょうか。

私自身、夏休みを有効に過ごせた、という経験はあまりないような気がします。夏休みの前半は余裕があると思って「今日の分も明日まとめてやればいいか。」「今日はなんとなくやる気がしない。」など自分勝手な理由で安易に計画を変更してしまいがちです。そして終盤になって宿題の山に苦しむことになる、そんな経験を何度も繰り返した記憶があります。「夏休み」は、時間には限りがあり、過ぎてしまうと取り戻すことができないものであることを、体験的に学ぶ絶好の機会なのかもしれません。しかし、目標を立て、時間を区切りながら、自分を成長させることができた成功体験をすることができれば、自立した生き方への自信につながっていくでしょう。

もう一つ、夏休みの宿題といえば自由工作や自由研究で頭を悩ませる子どもが多いようです。そして、助言者としての保護者の悩みの種でもあるでしょう。兄弟2人分ともなれば「自由工作や研究のネタ」を考えるのは一苦労です。

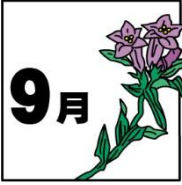
私も自分の子どもが小学生の頃は、自由工作や自由研究にかかる労力に果たしてどんな意味があるのか、少し疑問を抱いていました。しかし、ある雑誌の記事でアップル社の設立者の一人スティーブ・ジョブズ氏の言葉を見つけて、その意義を理解することができたような気になっています。その言葉とは・・・

「人間は頭の中で想像したことしか実行に移せない。技術的に不可能でも、いずれテクノロジーが発達して実用化できると信じていた。だから僕の内側にあったマッキントッシュは世に送り出せたのだ。ちがった考えは希望に満ちた呪文。模倣や追従は選択しない。」

最近では、教育現場の中での AI の活用方法についても様々な議論がなされていますが、頭の中の「自由な発想力」を鍛え、現実離れした空想的なことであっても、それを形に実現してみようとする思いが「学ぶ意欲」や「可能性へのチャレンジ」を引き出すのだと考えます。

2学期も子どもたちの内側にある自由な世界が大きく広がることを期待します。

# 9・10月の主な行事



## 7月4日七夕集会

5, 6年生企画のクイズやゲームを楽しみました。



## 7月6日イスト・スワト・ス校訪問

各教室での学習や日本のわらべ歌紹介、パナマの踊りなどで交流を深めました。



## 7月13日メトロ建設工事見学

日本や韓国企業の皆さん、パナマの方々にお世話になり、これからのパナマの発展国際協力、環境保護など様々な視点から学ぶことができました。



## お知らせ

### 修学旅行説明会

※小学部5・6年、中学部保護者対象

### 学習発表会

※保護者と下校

### エписコパル校招待

※参観可

